

# 第43回北部地区中学校新人野球大会要項

【趣旨】 野球大会を通して、青少年の体力の増進と地域における子どもたちの交流を深め、青少年の健全な育成に寄与することを目的とする。

1. 主催 名護ロータリークラブ
2. 共催 沖縄タイムス社
3. 後援 国頭地区中学校体育連盟 ・ 沖縄県野球連盟北部支部
4. 期日 令和5年8月 18日(金) 試合開始 午前9:00 【開始式】8:00(前日準備16:30)  
19日(土) 試合開始 午前9:00 【3位表彰】  
20日(日) 試合開始 午前10:00 【表彰式】  
21日(月) 22日(火) 予備日
5. 会場 タピックスタジアム名護、名護第2球場
6. 出場資格 (1) 国頭地区中体連加盟校であること。  
(2) 出場チームは1校1チームとし、1、2年生チームを編成すること。  
(3) 出場資格の特例を認める。「開催基準8(6)複数合同チーム」  
(4) 参加校の引率、監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。但し、教職員以外のコーチ1名については、学校長の認めた登録されたコーチでなければならない。  
(5) 1チームは選手25名、監督1名、コーチ2名(外部コーチ1名)、記録員1名の計29人以内とする。  
(6) 硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
7. 競技規則 2023年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟競技規則、本大会規定に準ずる。
8. 大会規定
  - (1) 試合はトーナメント制とし、今年度においては第3代表決定戦を行わない。
  - (2) 試合は7回戦とする。但し、3回以降10点差、5回以降7点差以上があるときはコールドゲームとする。
  - (3) 日没、降雨についてのコールドゲームはない。  
(全試合継続試合を適用)(原則として18時以降は協議して決定する)
  - (4) 7回を終了して勝敗が決しないときには、8回からタイブレーク方式を行い、勝敗を決定する。  
◎タイブレーク方式  
無死一・二塁の継続打順制のタイブレーク方式を行い、先攻・後攻で得点の多い方を勝ちとする。そのイニングで勝負が決しない場合はさらに継続打順でこれを繰り返す。
  - (5) 同日に1チーム3試合は行わない。
  - (6) チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。尚、監督・コーチのシューズについても同色とする。
  - (7) 背番号は1~20番を使用し、原則としてポジション順とする。
  - (8) 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)とSGマーク入りの捕手用ヘルメット、マスクを使用する。また、スロートガード、レガース、プロテクター、ファウルカップを使用すること。(投球練習時の控え捕手も同様)また、打者、走者、次打者、ベースコーチ、バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)とSGマーク入った両側のイヤーフラップ(内側にスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。
  - (9) マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みを禁止する
  - (10) 手袋・リストガードは、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応のものを使用する。
  - (11) ストッキングの形をしっかりと統一する。
  - (12) オーダーの交換は前試合の4回終了後(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。  
(試合は1時間30分と計算し、その1時間前までには集合する。)
  - (13) ベンチは抽選番号の若いチームを一塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。
  - (14) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止する。
  - (15) ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)
  - (16) アピールは当事者か監督に限る。
  - (17) 試合中に起きた事故については応急処置のみとする。その後は各学校で責任を持って処置する。
  - (18) 守備側と攻撃側のタイムの回数制限  
捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3回以内とする。なお、タイブレーク

方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。

(19) 監督が投手の所へ行く回数の制限

監督が1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。なお、タイブレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。

監督が同一イニングに同一投手の所へ2回目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。なお、他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。

9. 試合球 全日本軟式野球公認M号(ナガセM号)を使用する。

10. 表彰

優勝・・・優勝旗、優勝メダル(各29個)、賞状、副賞

準優勝・・・準優勝メダル、賞状、副賞

3位・・・賞状(2校)

個人賞・・・殊勲、敢闘、打撃2名。(ベストスコアーをとり優勝戦に残ったチームから選出)

11. 申し込み

(1) 締切日：令和5年8月10日(木)午後5:00締切

(2) 申込先：国頭地区野球専門部(名護中学校 諸喜田)

(3) 申込み方法：申込用紙の原本は監督会議当日に持参する。

**(年間登録料【1万円・離島5千円】の支払いもお願いします。)**

○国頭地区野球専門部ホームページより様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、新聞掲載用のチーム写真と申込用紙を添付し、下記のメールアドレスへ送信する。

**【送信されているかの確認のため、沖縄タイムスと野球専門部の2箇所へ送信すること】**

沖縄タイムス [hideya@okinawatimes.co.jp](mailto:hideya@okinawatimes.co.jp)

野球専門部 [kunigami2007@yahoo.co.jp](mailto:kunigami2007@yahoo.co.jp)

※ 問い合わせ先 名護中学校 諸喜田 真作 (090-1942-0062)

沖縄タイムス 崎濱 秀也 (090-1518-9591)

12. 監督会議及び抽選会

(1) 監督会議(大会要項及び細則確認)

①日時：令和5年8月10日(木)午後5:00～ ②場所：タピックススタジアム名護(会議室)

(2) 抽選会

①日時：令和5年8月10日(木)午後6:00～ ②場所：タピックススタジアム名護(会議室)

13. その他

(1) 球場内外の清掃は各学校で時間をかけて行い、ゴミの処理は責任を持って行う。(ゴミは確実に持ち帰る)

(2) 大会初日は8:00よりタピックススタジアム名護で監督会を行う。悪天候の場合においてはその会議で態度決定を行う。

(3) 試合後のグラウンド整備及び次の試合の補助員は、割り当てられたチームや敗者のチームで責任を持って行う。(次の役員が来るまで責任を持って行っておくこと。)

(4) 球場内でのアップは、チーム統一のTシャツでもよい。ただし、シートノックからは試合用ユニホームとする。

(5) 参加にあたっては、各学校の服装・容儀規定を遵守し、基本的には各学校において指導を行う。

(6) 全日本少年春季軟式野球大会沖縄県予選大会へ3校を推薦する。

〒905-0011 名護市宮里453-1  
ホテルゆがふいんおきなわ3階  
名護ロータリークラブ  
会長 宮里 三男  
(TEL0980-53-4568)